第66回 全国学校体育研究大会
鳥取大会

令和9年
11月11日(木)・12日(金)



大会主題

豊かなスポーツライフの実現と継続に向けて
共生の視点を重視する体育・保健体育学習
～多様な他者との協働的な学びによる一人一人が輝く授業を目指して～



主催：スポーツ庁／公益財団法人日本学校体育研究連合会
共催：鳥取県教育委員会／鳥取市教育委員会
主管：第66回全国学校体育研究大会鳥取大会実行委員会

第66回全国学校体育研究大会 鳥取大会実行委員会事務局
(鳥取県教育委員会事務局体育保健課内)
〒680-8570　鳥取県鳥取市東町一丁目271番地　TEL 0857-26-7922

大会趣旨

令和 6 年 12 月の文部科学大臣諮問を受けて本格的に始まった次期学習指導要領に向けた検討は、これからの我が国を担う子供たちは、激しい変化が止まることのない時代の中で、学校教育を受け、その後の人生を生き抜いていくことになるという想定の下で進められてきた。少子高齢化やグローバル情勢、生成 AI をはじめとしたデジタル技術の発展等による激しい社会的な変化の中で、子供たちはこれまで以上の「人生の場面転換」と向き合い、自らの人生を切り拓いていくことが求められる。こうした社会において、生き方や働き方を個人が主体的にデザインしていく上では、五感を通じた体験や身体性、スポーツを通じた豊かな心身の育成の価値を今一度認識し、人間ならではの力を育むことを教育課程全体で強く意識する必要がある。これは、まさに体育・保健体育の担う役割であり、時代を生きる子供たちが、明るく豊かで活力に満ちた生活を営むためには、心と体を一体として捉え、生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを実現することが重要である。

鳥取県ではこれまで、誰一人取り残されない学びと、生涯にわたる豊かなスポーツライフの実現と継続に向けて、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実を基盤としつつ、多様性を尊重し、一人一人が学びの主体となる体育・保健体育学習の創造を目指して授業改善を推進してきた。その中で、体力や技能の程度、性別、運動やスポーツに対する興味・関心、障害の有無等にかかわらず、全ての子供が安心して学習に参画し、互いのよさや可能性を認め合いながら学ぶことができるよう、「共生」の視点を重視している。

そこで本大会では、幼稚園教育要領及び学習指導要領の趣旨・内容を踏まえるとともに、鳥取県の子供たちの実態やこれまでの研究成果を基盤として、大会主題を「豊かなスポーツライフの実現と継続に向けて共生の視点を重視する体育・保健体育学習～多様な他者との協働的な学びによる一人一人が輝く授業を目指して～」と設定した。各分科会において、これからの体育・保健体育学習に求められる資質・能力の育成や共生社会の実現に向けた学びの在り方を具現化した授業を公開し、鳥取県が推進してきた授業改善の成果を発信するとともに、大会主題に掲げる体育・保健体育学習の在り方について提案する。

第1日目 11/11(木) 全体会

とりぎん文化会館
鳥取市尚徳町 101-5

9:30	10:40	12:00	13:50	17:00
受付	開会式	表彰式	基調報告	昼食	解説	シンポジウム	休憩	特別講演
10:00	11:30	13:00	15:50	

第2日目 11/12(金) 分科会

研究授業公開各校園

9:00	12:00	14:20	15:00
受付	公開保育・授業	昼食	研究発表 研究協議	指導講評	閉会式
9:30	13:00	14:40	

※分科会によって時刻に違いが生じる場合があります。

分科会会場

幼稚園	第 1 分科会	鳥取大学附属幼稚園
小学校	第 2 分科会	鳥取大学附属小学校
	第 3 分科会	鳥取市立賀露小学校
	第 4 分科会	鳥取市立末恒小学校
中学校	第 5 分科会	鳥取大学附属中学校
	第 6 分科会	鳥取市立南中学校
	第 7 分科会	鳥取市立湖東中学校
高等学校	第 8 分科会	鳥取県立鳥取東高等学校
	第 9 分科会	鳥取県立鳥取西高等学校
特別支援学校	第 10 分科会	鳥取大学附属特別支援学校

